

行事報告

先日5月8日(火)、午前中に「花祭り」、午後に「元中通り組蠟燭講ご消息披露法要」が勤まりました。午前中は物語「お釈迦様のお誕生」を若院、若坊守が朗読し、全員で「花祭りのうた」を合唱しました。最後に、お一人お一人お釈迦様像へ甘茶をかけて頂きました。午後は、元中通り組蠟燭講、9ヶ寺のご法中と共に正信偈のお勤め、法話の御講師は経智敬師(宇土市寶林寺ご住職)をお迎えしました。熊本地震を通して改めて知らされた「ご門徒様との尊い繋がり」「常に私にはたらいて下さる阿弥陀様」について、感情豊かにお話し下さいました。雨が降り続く一日でしたが、70名近くのご参拝により、本堂が賑わう一日でした。ようこそのお参りでございました。



朗読された「お釈迦様のお誕生」の1枚



婦人会により装飾された華やかな「花御堂」



おまかないの皆様による筍たっぷりの「お



御講師の経智敬(たてちきょう)先生

門徒会、婦人会新役員紹介 4月1日より交代がありました新役員の皆様をご紹介します。

【門徒会】

役職	お名前
会長	田中 晴美 様
副会長	松尾 眞吾 様
役員	久保 立美 様
役員	猿渡 正明 様
役員	田原 壽達 様

【婦人会】

役職	お名前	役職	お名前
会長	龍 ハツミ 様	役員	坂本シヅ子 様
副会長	桑原 時代 様	役員	荒木 英子 様
会計	片山スエ子 様	役員	平原 智恵子様
役員	合嶋チヅ子 様	役員	中村 満枝 様

お寺が担う社会貢献「おてらおやつクラブ」の活動を始めました

「おてらおやつクラブ」とは、お寺へのさまざまな「おそなえ」を、仏さまからの「おさがり」として頂戴し、子どもをサポートする支援団体の協力の下、経済的に困難な状況にあるご家庭へ「おすそわけ」する活動です。（2018年4月現在：全国853寺院が協力）この度明行寺では、この活動趣旨に賛同し、ご門徒様より頂いたお菓子や果物、日用品の一部を、2ヶ月に一度団体にお届けすることにしました。次回発送日を6月12日（火）に予定しております。「収穫はしたけど自宅で食べ切れない農作物があるから提供出来るよ」等、ご協力頂ける方いらっしゃいましたら、若院夫婦までご連絡下さいませ。



発送作業を行う若坊守

今後の予定（6～8月）

ご家族、ご友人お誘い合わせの上、どうぞお参り下さいませ

6月16日（土） 13時～ 元中通り組蠟燭講 ご消息披露法要@浄弘寺

7月 7日（土） 13時～ 元中通り組蠟燭講 ご消息披露法要@西楽寺

8月15日（水） 15時～ 盂蘭盆会（お盆）法要@明行寺

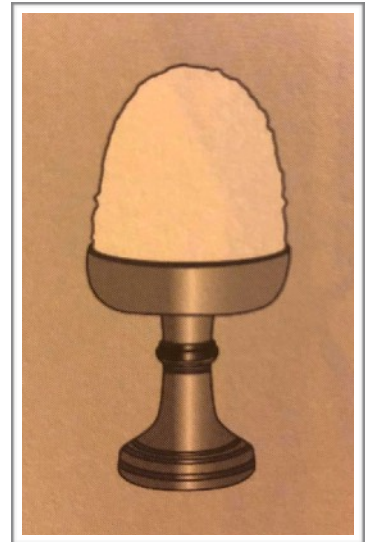
※少し先の予定になりますが、11月10、11日に予定されている「順番報恩講@明行寺」において、「稚児行列」を予定しております。お子様、お孫様お誘い合わせの上、ご予約調整頂ければ幸いです。詳細は改めてご案内致します。

== コラム「朝食はパンなのですが、お仏飯はどうしたら良いですか？」 ==

お仏飯は、お供物のなかでも特に大切にされています。朝のお勤めの前にお供えをし、正午までにお下げするのが通例です。しかし、最近ほどの家庭でも必ずしも朝、ご飯を炊くとは限らなくなりました。むしろ朝食がパンであるご家庭も多いようです。そのような家庭では、夜であってもご飯を炊いたときに、まずお仏壇にお仏飯をお供えするように心がけてください。

ご飯を炊くことがまったくない家庭では、「お仏パン」としてパンをお供えされてはいかがでしょう。お仏飯は、亡くなられた方のためにお供えするわけではありません。ご本尊の阿弥陀如来を敬う気持ちからお供えをします。お下げした後は、いのちを支えてくださっている食に恵まれたことに感謝し、大切にいただきましょう。

なお朝お供えするようになったのは、お釈迦さまが朝、托鉢（たくはつ）に歩かれたとき、在家の信者がお釈迦さまを敬い、食物を施されたことに由来するからとも考えられています。お釈迦さまは、施された食物を午前中に必要な分だけいただき、残った物は他の動物に分け与えられたといわれています。お仏飯を通して、共に生かされ、育てられているよろこびが感じられてくるものです。



～前田壽雄著書「浄土真宗本願寺派 仏事Q&A」（国書刊行会）より～

前田壽雄師

昭和49年北海道生まれ。浄土真宗本願寺派専念寺衆徒。武蔵野大学仏教文化研究所研究員、通信教育部人間科学部人間科学科准教授。浄土真宗本願寺派東京仏教学院研究科講師。著書に『書いて味わう讃仏偈 重誓偈』『教行信証のことばーやさしい法話ー』（本願寺出版社）